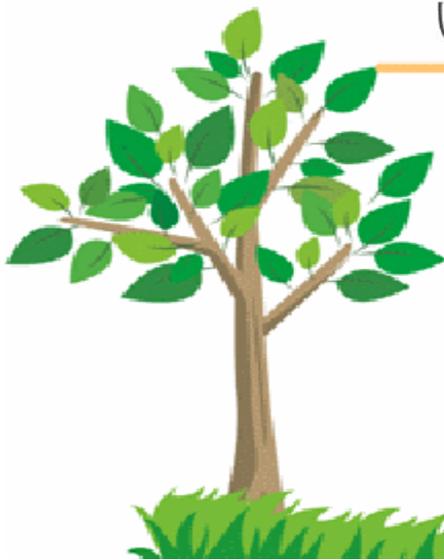


いやしのひととき



千代田日記

～ちよだにっき～

今月のごあいさつ

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

「相続資産として金を残したい。」

富の継承手段は不動産ですが、不動産と違って金は固定資産税がかかりません。これは30年40年経ってお孫さんにも資産を継承したい人にとって、すごいメリットです。それに不動産を共有名義で残すと争いのもとになりかねません…

来年から相続税の増税が決定しています。課税ベースが広げられ、今まで関係がなかった人も自分事になります。

弊社は、慌てずゆっくり「ゴールド積立てくん[®]」で万全の準備をお手伝いして参ります。

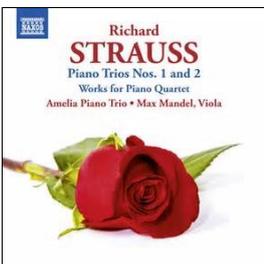


ご存知ですか？

リヒャルト・シュトラウス

今年生誕150年の作曲家・指揮者のリヒャルト・シュトラウス。メロリアルイヤーの今年多くの演奏会が行われます。ちなみにワルツ王ヨハンシュトラウスとは無縁。また恋して結婚したソプラノ歌手のパウリーネは後に悪妻として数々のエピソードがあります。

シュトラウスの作品は『恐妻』前の作品は大変ロマンチック。『恐妻』後はオペラで一度大失敗します。が恐ろしい妻の叱咤激励で意欲作かつ問題作サロメ、さらに難解なエルクトラに挑戦。続いてかの有名なばらの騎士で大成功を収めます。泣けます(笑)



算

和菓子の最中（もなか）と月見の関係

餅から作った皮で餡を包

んだ和菓子の一種「最中（もなか）」。

今では全国各地で

様々な種類の最中が銘菓と

して売られています。

あの菓子が「最中」という名

前で呼ばれるようになった

のは、江戸時代と言われている

です。吉原で和菓子屋を営ん

でいた竹村伊勢という職人

が考案した円形の菓子を「最中の月」

と命名したものが広がり、その後、四

角いものも出回るようになったこと

から「月」が省かれ、「最中」へと変

遷していったようです。

しかし、「最中の月」という言葉そ

のものは、平安時代から使われてい

ました。

『拾遺和歌集』（しゅういわかしゅ

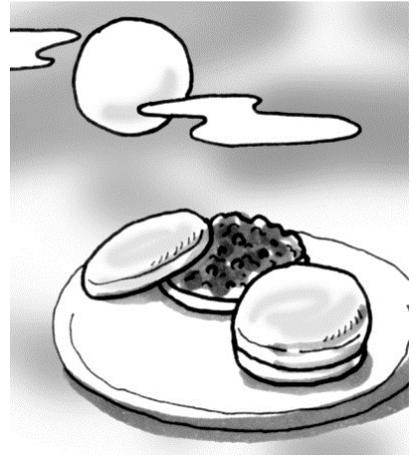
う）に源順が詠ん

だ「池の面に照る

月なみを数ふれば

今宵ぞ秋のもなか

なりける」という



句が収録されています。

「秋のもなかなりける」は、「秋真つ

盛りである」といった意味であり、こ

れをもとに、中秋の名月のことを「も

なかの月」と言つようになった。

さらに、月見の宴で出される白く

て丸い菓子を、平安貴族たちが「もな

かの月」と呼ぶこともあったと言わ

れ、これが江戸時代の竹村伊勢の菓

子へと引き継がれた……という説も

あります。

日本人の心に風流を運んでくれる

美しい中秋の名月……今年も定番の

月見団子ではなく「最中」をお供に、

平安の世に想いを馳せるのも一興か

もしれませんね。

薬を1錠飲むよりも、

心から笑った方がずっと効果があるはず

「アンネの日記」より

ユダヤ系ドイツ人の少女・アン

ネ・フランクは、第二次世界大戦下

のオランダで、ナチスドイツの迫

害から逃れるため狭い隠し部屋で

暮らしました。全世界でベストセ

ラーとなった「アンネの日記」は、

この潜伏生活の中で綴られたも

の。少女の葛藤と成長が

描かれると同時に、戦争

や人種差別などについて

深く考えさせられる内容

となっています。後に捕

えられ、収容所で病死し

てしまう悲運の少女が遺

した作品……けれども、

この日記は、どこか明る

い印象に満ちています。

他愛ない日常のエピソードの他、彼女の鋭い洞察

力や批判精神もうかがえ、その利発さが伝わり

ます。何より、絶望や恐怖に押しつ

ぶされそうになっても、決して希

望を捨てずに生き抜いた姿が多く

の人の心を魅了するのです。

人の体や心が健やかであるため

には、時に「笑顔でいること」が大

きな効果を持つ……これは、現代

医学の世界でも数多くの研究がな

され、「免疫力がアップする」「脳が

活性化する」などの報告もされて

います。アンネは、心から笑うこと

が心身を元気にし、希望を導き、人

生を幸せなものにする一つの方法

だと教えてくれています。



なごみひとさじ

おいしい 毎日の ススメ

「虫の声」に耳を傾けるのは……

左脳は言語脳と呼ばれ、人間の話す

声の理解など、論理的・知的な処理を受け持ちます。ここまでは日本人

も西洋などの外国人も一緒です。

しかし、虫の声と言われる羽の音

などは、西洋人は右脳で処理し、日

本人は左脳で受けとめる、というこ

とが明らかになりました。

つまり、日本人は、虫の発する音

を「言語」として認識しているとい

うこととなります。

そしてこれは、虫に限ったことで

はありません。人の（言葉ではなく）

笑い声・泣き声・叫び声、動物の鳴

き声、川のせせらぎや波、風、雨な

どの音も、日本人はすべて言語と同

様に左脳で聴いているというので

す。反対に、西洋人は虫の音同様、

これらを右脳で処理しています。

日本人は、虫の発する音を、古く

から使われてきた言い回しの「虫の

声」という意味のままに受け止めて

いるのです。

この脳の違いはそれぞれに生ま

れつき備わっているものではなく、

言語の違いによるもの……つまり、

日本人が左脳で受け止めるのは、日

本語が母国語であることが原因と

いうこともわかってきました。

日本語は、擬声語、擬音語がもっ

とも発達している言語。わかりやす

く言うと、日本人には幼い頃から

「犬は「ワンワン」「小川は「サラ

サラ」「雨は「シトシト」「風は

「ビュービュー」と言った擬音を

多く使う習慣があります。日本語で

育った人には、知らず知らずのうち

に、自然の物はすべて声を持つかの

ような感覚が培われているのです。

ですから、とても興味深い点は、

自然の音を音楽脳で聞くか言語脳

で聞くかの違いは、人種や血筋の違

いではないということ。西洋人でも

日本語を母国語として育った人は、

日本人と同じ聞き方になるのです。

これもまた、角田教授が南米で行った実験で証明されています。

自然の音に限らず、日本人には風

鈴の「チリンチリン」という音に涼

を求めたり、たき火の「パチパチ

という音に暖かさを感じたり……

と言った感覚もありますね。

そういった独特の感性が、日本が

世界に誇る粋や風流などの文化の

礎となってきたのでしょうか。

日本語が織りなす美しい世界を

今一度見直し、あらためて自然の

声に耳を傾けてみたいですね。

秋の夜長に聞こえてくる虫の声はとても風流で、どこか心地よい感覚を運んでくれます。

しかし、虫の声をどうとらえるのは日本人だけで、他の国の人々は「雑音」として聞いていることがわかりました。そしてそれには、脳や言語が関係している……ということもわかってきました。東京医科大学の角田忠信教授が次のような研究結果を発表しています。

人間の脳は右脳と左脳とに分かれていて、それぞれに得意分野があります。右脳は音楽脳とも呼ばれ、音楽や機械音、雑音を処理します。



心得の教科書

「ら抜き言葉」について用心

「ら抜き言葉」という話し方を「存知ですか？」
 例えば、「食べる」ことができない「を短く言う時、「食べれる」と言ってしまう方が多いでしょ？」が、実は間違い。「食べられる」が正解です。
 この誤用「食べれる」が「ら抜き言葉」です。他にも、×「出る」→「出らるる」、「来る」→「来られる」、「起きれる」→「起きられる」、「なむが挙げられる」。

でも「友達や家族との会話くらいは『ら抜き』でも良いのでは？」という擁護派が増えています。
 但し、冠婚葬祭やビジネスシーンで連絡する時、話し手の品格が疑われてしまう、という場合もあるようです。
 今ではその見分け方・使い方を解説したインターネットサイトや本などが多くありますから、しっかり確認し、敬語と同じように使い分けを心得ておいた方が無難でしょう。



★難解漢字クイズ②★

次の漢字の読み仮名を三択で答えてください。

- Q1 「漸く」 ①しばらく ②ようやく ③いさぎよく
 Q2 「鳩尾」 ①みぞおち ②さえずり ③てっぽう
 Q3 「儂い」 ①うつろい ②あわい ③はかない
 Q4 「琴線」 ①きんせん ②こんせん ③かんせん



A1 「漸く」 ②ようやく

長く待ち望んでいた事が実現するさま。苦労した結果、目標が達成できるさま。

A2 「鳩尾」 ①みぞおち

人間の腹の中央にある窪んだ部位。水落ち（飲んだ水が落ちる所：みぞおち）が変化した語。

A3 「儂い」 ③はかない

消えやすいこと。もろくて長続きしないこと。不確かであてにならないこと。

A4 「琴線」 ①きんせん

心の奥深くにある物事に感動しやすい心を、琴の糸に例えたもの。